

## 災害ボランティア活動の一步

ボランティア活動を  
したいけれど…

「熊本地震の時にお世話になった恩返しとしてボランティア活動をしたけれど、最初の一步をどうしたらいいのかわからない」などと思う人も多いのではないのでしょうか？ 未経験だったり、体力に自信がなくてもできるボランティア活動の始め方を紹介します。



熊本地震時に駆け付けてくれたボランティア。腕にはセンター登録を示すシールが見えます

大規模災害が発生すると、被災地の社会福祉協議会が中心となり「災害ボランティアセンター」(以下、センター)が開設されます(市町村により開設時期が違ったり、開設されない場合もあります)。センターは、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点で、個人ボランティアの登録を受け付け、被災者の要望(ニーズ)とボランティアの調整(マッチング)を行い、両者をつなぐ役割を果たすものです。まずは被災地に開設されているセンターへ行き、登録をしましょう。

ただし、ここで大事なことは、センターに過度な負担をかけないことです。センターでは、ニーズ受け付けの電話対応などに追われているため、登録方法などではできるだけ電話で問い合わせず、ウェブサイトやSNSなどで情報収集してください。

をセンター職員へ報告すると、今後の活動に生かされます。また、体力に自信がないなどさまざまな理由で、現地で活動することができない人もいます。しかし、ボランティアは、現地に行つて活動することだけではありません。センター運営の手伝いや被災地に募金することも立派な支援活動で、共助になります。また、被災直後の混乱が収まってきたら、被災地で生産されたものを購入したり、観光で訪れたりすることなども、被災地の復興支援につながります。

ぜひ、あなたのできる方法でボランティア活動を行ってみてください。

※被災市町村により状況が異なります。活動の際には、必ず情報収集を行ってください。

参考ウェブサイト  
「全社協 被災者支援・災害ボランティア情報」<https://www.saijainv.com/>

### 活動内容は？

被災地には、災害の直後だけでなく、その後も復興に向けた息の長い支援が必要です。そして、時間が経つにつれ、支援ニーズは変化していきます。

初期段階では、がれきの撤去や分別、水害時の泥だし作業など、力仕事を中心とした活動が主となります。

そして時間が経つにつれ、室内清掃や引っ越しの手伝い。さらに、避難所や仮設住宅でイベントやサロン活動の支援など、人と人とのつながりを大切にした活動が求められるようになっていきます。

ただし、求められるニーズは、災害や被災地によって異なります。活動を行う前に、どのようなニーズがあるのか、ウェブサイトなどで最新情報を確認してください。



がれきの撤去作業(熊本地震)



現地出発前のオリエンテーション